

花巻へ行こう

ようこそ、イーハトーブの世界へ

ファーストツアー

宮沢賢治を
追いかけて

セカンドツアー

湯つくり、
湯ったり。
温泉満喫の旅へ。

サードツアー

真の
“味”な旅を
体験

花巻の魅力
花巻旅遊源



●宮沢賢治記念館 平成27年4月にリニューアルオープン。宮沢賢治の心象世界や作品世界を五分野に分類し、解説と作品に至る創作過程、最新の研究成果などを展示紹介しています。
☎ 0198-31-2319 📍花巻市矢沢1-1-36

●早池峰と賢治の展示館～猫の事務所～ 宮沢賢治ゆかりの資料を展示。展示館は旧稗貫郡役所を復元したもので、宮沢賢治の童話「猫の事務所」のモデルともいわれています。
☎ 0198-48-2070 📍花巻市大迫町大迫3-161

●宮沢賢治童話村・賢治の学校 賢治の童話の世界をビジュアルと音響で体験出来るアミューズメント施設。ログハウス展示施設「賢治の教室」もあります。
☎ 0198-31-2211 📍花巻市高松26-19



●ボランの広場(南斜・日時計花壇) 宮沢賢治記念館そばにある広場。南側斜面には、かつて花巻温泉のために賢治が設計した南斜・日時計花壇が設計図を元に復元されています。宮沢賢治記念館とイーハトーブ館をつなぐ所にばたん園もあります。

みやざわ けんじ
宮 沢 賢 治

明治29年、現在の岩手県花巻市生まれ。詩人、童話作家、教師、科学者、宗教家など多彩な顔を持つ一方、農民の生活向上を目指して羅須地人協会を設立。農業技術指導、レコードコンサートの開催などの活動を行うが、理想かなわぬまま37歳の若さで永眠。生前は、詩集「春と修羅」、童話集「注文の多い料理店」(1924)を残す。死後、徐々に多くの人に読まれるようになり、現在は多くのファンに支持されています。

人間愛にあふれた
偉大なる先人



資料：林風舎

宮沢賢治

ファースト・ツアー

を追いかけて

詩 人であり童話作家としても知られ、地質の調査に取り組み、教師や農業指導者として活動した宮沢賢治。ひとことではとても言い表せないその多面的な生涯は、故郷の花巻で見聞きし体験したものごとを礎に花開いたのです。
1896年(明治29)8月、花巻市の商家に生まれた賢治は、小学生のころより鉱物や植物の採集に興味を持ち、まわりから「石っこ賢さん」と呼ばれる

37年の生涯

理想を追い求めた

雨ニモマケズ、風ニモマケズ：素朴さと力強さをにじませた言葉を綴り、一方では「銀河鉄道の夜」という幻想的な童話も紡ぎだした才人、宮沢賢治。きらきらと変化する万華鏡のように魅力的な彼の作品の多くは、故郷花巻の山や川、風土からインスピレーションを得たともいわれます。生涯をかけ、賢治が夢描き追い求めた理想郷イーハトーブ。その場所を、花巻に探しに来てみませんか。



胡四王山のボランの広場 周辺には賢治にまつわるワンポイントが多数あります。





●羅須地人協会 花巻農学校を辞した賢治が自炊、農耕生活を始めた場所。農業指導やコンサートなども開かれました。玄関先の黒板「下ノ畑ニ居リマス」は賢治の直筆の再現です。



●イギリス海岸 賢治が命名した場所で、北上川西岸にあります。かつて賢治はここで化石などを拾いましたが、現在は過水時にしか見る事ができません。

●林風舎 賢治の好きなフクロウの雑貨などの販売のほか2階には小コンサートなども開かれる喫茶があります。
☎ 0198-22-7010 📍 花巻市大通り1-3-4



●未来都市銀河地球鉄道壁画 日が落ちると、花巻駅北側の擁壁に宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」を想わせる幻想的な絵画が、高さ10m、延長80mにわたって浮かび上がります。



賢 治の愛した胡四王山山頂付近に建つ宮沢賢治記念館は、地域や信仰、科学、農村などといったキーワードで賢治の生涯を紹介。愛用のチェロや自筆原稿など、ここで見られない展示も多く、彼の足跡をたどるには欠かせない施設です。そばには「宮沢賢治イーハトーブ館」や「宮沢賢治童話村」もあります。

賢治が自炊しながら農業指導を行った「羅須地人協会」は、

市内桜町にありました。今その場所には「雨ニモマケズ」詩碑が建ち、9月21日の命日には「賢治祭」が行われます。協会の建物は、現在の県立花巻農業高等学校の敷地内に移築されています。

農学校教諭時代に生徒を連れて訪れた「イギリス海岸」は北上川河畔にあり、賢治童話の原風景や作品をイメージしたモニュメントは市内のいたるところで見ることができます。

―これらのわたくしのおはなしは、みんな林や野はらや鉄道線路やらで、虹や月あかりからもらってきたのです。（童話集『注文の多い料理店』序文より）

川に森、風の音。ささやかな自然のなかにも、賢治の物語世界は息づいています。

宮沢賢治を追いかけて

ファースト・ツアー

ゆかりの場所と
山河に息づく物語



●「雨ニモマケズ」詩碑
もともとの羅須地人協会があった場所で、現在は高村光太郎揮毫による「雨ニモマケズ」詩碑が建っています。



賢治が羅須地人協会の黒板に書いた「下ノ畑」は今も健在です。



●賢治祭 「雨ニモマケズ」詩碑の建つ場所にて、賢治の命日である9月21日に行われます。詩の朗読や野外劇など、さまざまな催しで偲びます。
📅 毎年9月21日





鉛温泉

なまりおんせん

【十三月】

〒025-0252 岩手県花巻市鉛字中平75-1
TEL.0198-29-6222
URL <http://www.13gatsu.jp/>

伝承600有余年、開湯から紡いできたおもてなしの心をそのままに、和の洗練と洋の上質が融合した NEO RYOKAN STYLE という新しいカタチで寛ぎの時を過ごせます。



浴衣で散歩
したくなる、
ひなびた風情

花

巻の温泉地は市の西部、
豊沢川と台川が流れ出る山あいを中心に点在しています。

豊沢川の上流にあるのは、「鉛温泉」と「新鉛温泉」。鉛温泉は600年ほど前、白猿が傷

を癒すのを見た宿のご先祖が源泉を発見したと伝わる秘湯で、来歴にちなむ浴槽「白猿の湯」は、深さ約1・25メートルある浴槽の底からお湯が湧いています。木造3階建・総ケヤキ造りの本館は、昔ながらの湯宿の雰囲気を感じながら、温泉を堪能できます。宮沢賢治の童話「なめとこ山の熊」のなかにも、傷を癒す湯として登場する名湯です。いっぽう新鉛温泉は、こんなに湧き出る3つの源泉を合計17もの湯船で楽しむことができます。豊沢川のせせらぎを聞きながら入る露天風呂は格別と評判です。

鉛温泉

なまりおんせん

【藤三旅館】

〒025-0252 岩手県花巻市鉛字中平75-1
TEL.0198-25-2311
URL <http://www.namari-onsen.co.jp/>

宿のご先祖が白猿が湯浴みするのを見て開湯したと伝わり、立って入る「白猿の湯」ほか館内には5つのお風呂があります。宮沢賢治の童話のほか、宿は田宮虎彦の小説「銀心中」の舞台にもなっています。



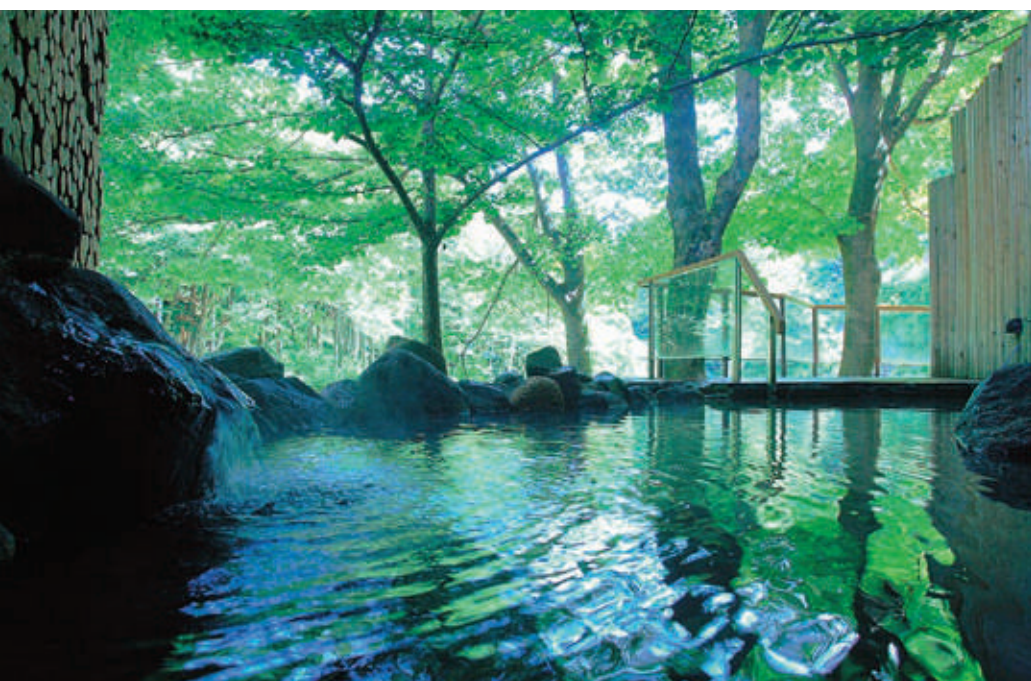
新鉛温泉

しんなまりおんせん

【結びの宿 愛隣館】

〒025-0252 岩手県花巻市鉛字西館23
TEL.0198-25-2341
URL <http://www.airinkan.com/>

豊沢川の最も上流にあり、宿は1軒のみ。かつて金山があったことから源泉名は「黄金の湯」といい、17カ所ある浴槽の中には珍しい立ち湯もあります。自然を満喫できるたたずまいと細やかなサービスも評判です。



セカンド・ツアー

湯つくり、
湯つたり。
温泉満喫の旅へ。

花巻のもうひとつの自慢は温泉の多さ。
台川、豊沢川沿いを中心に
湯宿がならぶ花巻温泉郷、
山峡に田園に、温泉が湧いています。
長い歴史のある秘湯から近代的なホテルまで
個性いろいろ、泉質もいろいろ。
これぞ、東北有数の温泉地たるゆえんです。
何はともあれ各宿自慢のお風呂へどうぞ。
あふれ出るお湯に、美しい自然。
日本人に生まれてよかったなア――。
心の底から、そう思われることでしょう。

「藤三旅館 白猿の湯」



大沢温泉

おおさわおんせん

【山水閣・菊水館・湯治屋】

〒025-0244 岩手県花巻市湯口字大沢181
TEL.0198-25-2021（代表）
URL <http://www.oosawaonsen.com/>

1200年前、征夷大將軍坂上田村麻呂が傷を癒したとの伝説が残る名湯。宮沢賢治は少年の頃から父親とともに訪れ、教師時代には生徒も連れてきました。高村光太郎にも「本当の温泉の味がする」と愛されました。

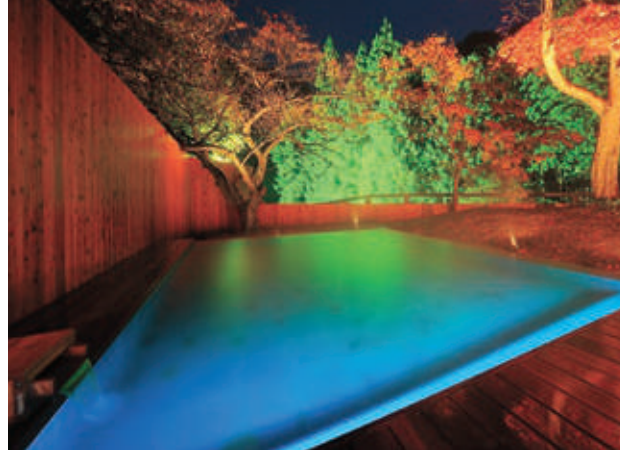
山の神温泉

やまのかみおんせん

【優香苑】

〒025-0253 岩手県花巻市下シ沢字中野53-1
TEL.0198-38-5526
URL <http://www.yuukaen.jp/yuukaen/>

趣の異なる4種の温泉はすべて源泉掛け流しで驚くほどとりとした肌触り。花巻温泉郷最大級の露天風呂で大自然に癒されながらゆったりとした時間を過ごせます。



います。また、宮沢賢治や芸術家の高村光太郎もよく利用した名湯です。豊沢川沿いに2つの旅館と昔ながらの自炊部があり、特に自炊部のひなびたたずまいは温泉情緒たっぷり。川沿いの混浴露天風呂・大沢の湯が名物です。

「渡り温泉」は季節の花々や翡翠風呂など、女性にやさしいおもてなしの宿として人気の宿です。

豊豆

沢川中流にある温泉も個性豊かなところばかりです。

「山の神温泉」のお湯はとりとしており、花巻温泉郷でもめずらしい泉質。宮大工が手がけたという建築は、細部にまでこだわりが感じられます。

「志戸平温泉」は今から1200年も前の平安時代、征夷大將軍坂上田村麻呂が発見したと伝わる温泉のひとつ。3つの源泉と20種類のお風呂、合わせて605坪という広さは岩手県ナンバーを誇ります。

同じく坂上田村麻呂の開湯伝説が残る「大沢温泉」は、江戸時代には南部藩主が訪れて



松倉温泉

まつくらおんせん

【ガーデンリゾート 悠の湯 風の季】

はるか ゆ かぜ とき

〒025-0244 岩手県花巻市湯口松原36-3
TEL.0198-38-1125
URL <http://kazenotoki.jp/>

豊沢川のせせらぎと大沢山の木々の木洩れ日が、やさしくふりそそぐ露天風呂が自慢です。泉質は、美肌効果が高いと評判のアルカリ性単純泉です。



金矢温泉

かなやおんせん

【ホテル銀河パークはなまき】

〒025-0321 岩手県花巻市金矢5-251-1 TEL.0198-27-2811
URL <http://www.kanko-hanamaki.ne.jp/play/onsen/kanaya/gingapark/>
広大な花巻広域公園内に位置しており、「万寿の湯」と呼ばれています。



志戸平温泉

しどたいらおんせん

【游泉 志だて】

〒025-0244 岩手県花巻市湯口字志戸平11-2
TEL.0198-25-3939
URL <http://www.shidate.jp/>

開湯から1200年以上を数える名湯。客室28室には全て溪流を望むように露天風呂が配されており、贅沢な大人の時間が楽しめます。



湯つくり、湯つたり、温泉満喫の旅へ。

志戸平温泉

しどたいらおんせん

【湯の杜 ホテル志戸平】

〒025-0244 岩手県花巻市湯口字志戸平27-1
TEL.0198-25-2011
URL <http://www.shidotaira.co.jp/>

近代的な大型ホテル。20種類ものお風呂はいずれも異なった趣向で、25メートルの大浴場のほかヒノキ風呂、露天風呂などさまざま。お風呂のはしごをどうぞ。



渡り温泉

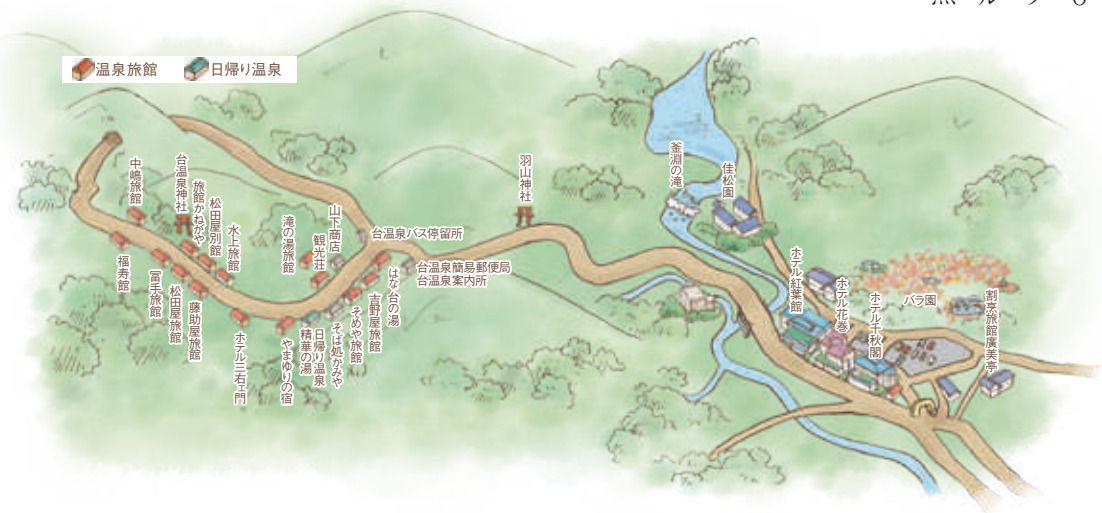
わたりおんせん

【ホテルさつき・別邸楓】

〒025-0244 岩手県花巻市湯口字佐野21-8 TEL.0198-25-2110
URL <http://www.watarionsen.co.jp/>

季節の花々と旬を感じる料理やもてなしが女性を中心に人気です。広く開放的な露天風呂や、不老長寿に効能があるといわれる翡翠風呂があります。





日本情緒と風格漂う「佳松園」はじめ「ホテル千秋閣」「ホテル花巻」「ホテル紅葉館」の4館があります。贅を凝らした露天風呂のほか、岩盤浴やアロマエステ、アミューズメントも充実。県内観光の拠点です。



〒025-0304岩手県花巻市湯本1-88-1
TEL.0198-27-2216
URL <http://www.hiromitei.info/>
岩手の山海の幸や地場の旬の食材を使った料理の数々が評判の割烹旅館。客室は12部屋とこじんまりしており、ゆっくりと過ごせます。



サード・ツアー 真の“味”な旅を体験

グルメな食いしん坊さん、
いらっしやいませ。
ここ花巻は、農産物の豊富さはもちろん
県内各地から
選りすぐりの食材が届くまちです。
里の味、山の旬、海の幸。
素朴な郷土料理から斬新な創作料理まで
オール・イワテの美味しさ、
ぜひご堪能ください。

宿で、お店で、
食事処で
やさしい味に出会う

旅の楽しみのひとつは、その土地ならではの美味しいものを食べる。こと。花巻市が位置する北上川流域は県内有数の穀倉地帯であり、米はもちろん野菜や果樹の栽培がさかん。さらに和牛や豚などの畜産、川魚や山菜、きのこなど山の幸にも恵まれています。これら豊かな食材を味わえるのが市内の料理店やホテルなど。温泉や観光地が多く、県内外から数多くのお客様をお迎えしてきた花巻では、美味しさも大事なおもてなしのひとつ。創意工夫と食材の持ち味を活かした花巻の味、きつと満足していただけることでしょう。



おもてなしの心、わんこそば

およそ380年前、花巻を訪れたお殿様を小さなおわんに盛ったおそばでもてなした事が始まりと言われるわんこそば。おもてなしの心が生み出した花巻を代表する郷土料理です。恒例の「わんこそば全日本大会」では5分間に何杯食べられるかを競います。ちなみにわんこ10杯でかけそばおよそ1杯分といわれます。

花巻でわんこそばが楽しめるお店
嘉司屋 TEL.0198-22-3322
やぶ屋総本店 TEL.0198-24-1011
金婚亭 TEL.0198-26-4982
山猫軒駅前店 TEL.0198-31-2013



花巻旅遊源

これまで紹介したほかにも花巻の魅力は多数。
あなたの旅行プランのヒントにご活用ください。

偉人

高村光太郎記念館

平成27年4月にリニューアルオープン。全国で唯一、芸術家高村光太郎の彫刻「手」、詩「非情の時」などの作品や資料を展示した施設。光太郎が晩年を過ごした高村山荘に隣接しています。

TEL0198(28)3012
〒花巻市太田3851



花巻新渡戸記念館

新渡戸稲造の先祖であり、地域の発展に取り組んだ新渡戸氏の歴史と功績を紹介。稲造の名著「武士道」の展示コーナーもあります。

TEL0198(31)2120
〒花巻市高松921



自然

早池峰山

北上高地の最高峰。特別天然記念物指定のハヤチネウスユキソウなどさまざまな高山植物の宝庫として知られ、多くの登山客が訪れます。



釜淵の滝

高さ約85m、幅約25mにわたって丸く盛り上がった岩床の表面を滑り落ちる水が美しい滝。宮沢賢治の作品「台川」にも登場します。



芸能

早池峰神楽

早池峰山信仰が起源とされ、発祥は500年以上前とも。大償(おおつぐない)と岳(たけ)の2つの神楽座が伝統を守り続けています。

ユネスコ無形文化遺産

大償神楽舞初め	1月2日
岳神楽舞初め	1月3日
大償神楽春の舞	4月下旬
早池峰神社例大祭宵宮	7月31日
早池峰神社例大祭	8月1日
大償神社例大祭	9月中旬
岳神楽舞納め	12月17日
大償神楽舞納め	12月第3日曜日



大償神楽



岳神楽

田瀬湖水まつり

夏の始まりを告げる恒例の祭りで、広大な田瀬湖の湖面に映る水中花火の美しさは格別です。自分だけの記念花火も打ち上げられます。

7月下旬〜8月上旬の土曜日



石鳥谷夢まつり

石鳥谷夢まつり

子ども達に花火を見せたいと、地域の人々が始めた手づくりの祭り。花火大会を中心に夢行灯や松明演出、屋台村で盛り上がります。

8月13日

光と音のページェント

宮沢賢治の精神を子どもたちに伝えようと始まった夏のイベント。北上川河川敷での花火大会ほか、ウォーキングイベントなども行われます。

8月下旬

おまつり

あんどんまつり

江戸時代が始まった盆の行事。武者絵や歌舞伎の場面、仏画を描いた大きなあんどん山車が4台出て、町の中を練り歩きます。

8月14日16日



たろし滝測定会

葛丸川の上流にあるたろし滝、注ぐ沢水は真冬に凍り付いて大氷柱になります。昔からの地域では氷柱の太さでその年の作柄を占てきました。

2月11日



宿場の雛まつり

江戸時代から受け継がれる古今雛や享保雛が数多く残る大迫の中心街で、ひな飾りを見て歩く昔ながらの風習を復活させたお祭りです。

2月下旬〜3月上旬



花巻まつり

420年以上の歴史を誇る花巻まつりは、豪華絢爛な風流山車のほか、展示台数ギネス認定の神輿、様々な伝統芸能など、必見です。

9月第2土曜日を中日とする
金・土・日曜日



わんこそば全日本大会

制限時間内に碗に入ったそばを何杯食べるかを競うもので、毎年2月11日に開催されます。全国から胃袋自慢が集い、一番食べた人が横綱になります。

2月11日



毘沙門まつり 全国泣き相撲大会

成島三熊野神社に古くから伝わり、6ヶ月から1歳半の子どもたちが親方に抱かれにらめつ。先に泣いた方が負けというユニークな神事です。

5月上旬



花巻温泉バラまつり

北東北有数規模のバラ園で、世界のバラが約6,000株咲き誇り、6月上旬からが見頃です。

6月上旬〜7月上旬



食

白金豚

宮沢賢治の作品「ブランドン農学校の豚」からネーミングされた、花巻の誇るブランド豚。肉質はしつかり、脂はとろけるような美味しさ。



金婚漬

ウリの中にニンジンなどをコンブ巻きにして詰めた、花巻を代表するお漬物。輪切りにすると渋い色合いの中にニンジンの赤が鮮やかです。



ひえカレー

花巻は「ひえ」の生産量が日本一。小麦粉の代わりに「ひえ粉」を使い、乳、大豆、畜肉エキス、動物油脂を使用しない健康志向のカレーで作った「花巻ひえカレー」は美味。



三酒

地酒

日本三杜氏のつ、南部杜氏のふるさとが花巻市石鳥谷地区。現在、全国約300余りの酒蔵で活躍しています。もちろん地元にも、その技と心は銘酒となつて受け継がれています。



ワイン

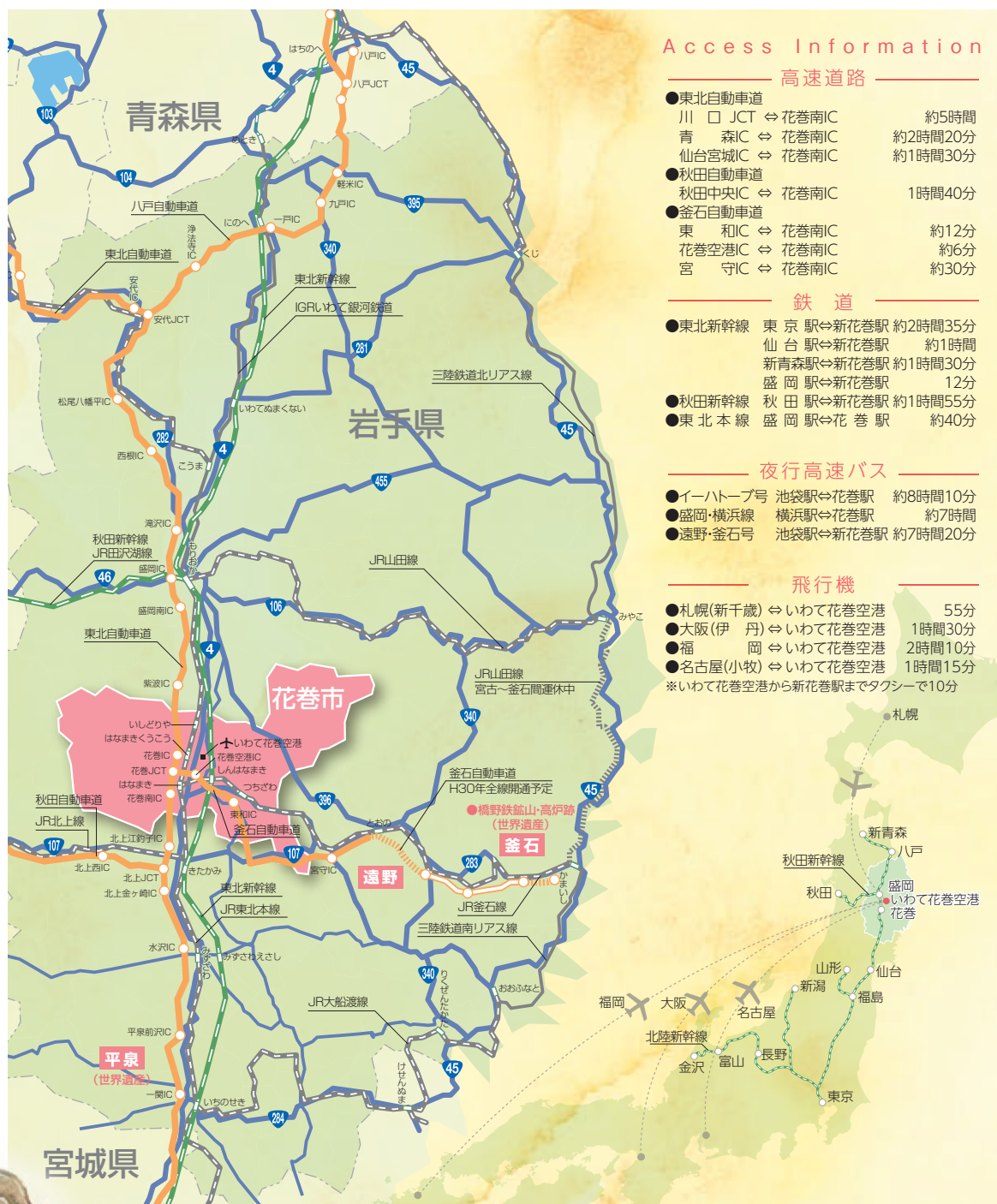
フランスのボルドー地方に似た気候が産んだぶどうの産地大迫地区で、40年余り前から取り組まれているのがワイン造り。国内外のワインコンクールで入賞を果たしています。



ひえ焼酎

雑穀生産量日本一の花巻。その雑穀の中でも食物繊維が白米の約8倍もあるヒエを原料にした焼酎が注目されています。香りは控えめで甘くてクセがないのが特徴です。





(一社)花巻観光協会

〒025-0004 岩手県花巻市葛3-183-1

TEL 0198-29-4522 FAX 0198-29-4447

E-mail kero@kanko-hanamaki.ne.jp

URL <http://www.kanko-hanamaki.ne.jp/>

花巻観光センター(新花巻駅)	TEL&FAX 0198-31-2244
花巻観光案内所(花巻駅)	TEL&FAX 0198-24-1931
大迫観光案内所(早池峰と賢治の展示館内)	TEL 0198-48-2070
石鳥谷観光案内所(道の駅石鳥谷)	TEL 0198-45-6868 FAX 0198-45-6860
東和観光案内所(道の駅とうわ)	TEL&FAX 0198-42-3006
東和観光案内所(佐々長醸造(株)内)	TEL 0198-42-2311 FAX 0198-42-2204

※掲載データは平成28年2月現在のものです。

